

交際費支出状況(10月～12月)

秘書広報課 ▷問い合わせ先＝秘書係(☎内線223)

区分	件数	支出額	主な内容
祝金	8件	55,000円	気仙地区身体障がい者協議会受章祝賀会・親睦交流会ほか
香典	14件	100,000円	市政功労者逝去に伴う香典ほか
その他	13件	75,578円	表敬訪問土産(45カ所)

議会事務局 ▷問い合わせ先＝庶務係(☎内線242)

区分	件数	支出額	主な内容
香典	2件	42,400円	元町議会・市議会議員逝去に伴う香典
その他	5件	30,301円	表敬訪問土産(14カ所)ほか

教育委員会 ▷問い合わせ先＝生涯学習課総務係(☎内線272)

区分	件数	支出額	主な内容
祝金	1件	5,000円	岩手県立気仙光陵支援学校創立30周年記念式典

大船渡消防署 ▷問い合わせ先＝消防団係(☎②2119)

区分	件数	支出額	主な内容
香典	3件	9,000円	消防団分団長の父逝去に伴う香典ほか

食糧費支出状況(10月～12月)

区分	件数	支出額	主な内容
災害復興局	1件	10,680円	復興計画推進に係る意見交換会食糧費
企画政策部	13件	82,704円	銀河連邦交流30周年記念行事食糧費ほか
議会事務局	3件	5,720円	視察対応用飲物代ほか
選挙管理委員会	2件	19,947円	衆議院議員総選挙投票所用茶菓代ほか

▷問い合わせ先＝財政課財政係(☎内線224)

お知らせします
交際費・食糧費

市では、交際費・食糧費を公表しています。

本号の広報では、平成29年10月から12月までの支出状況をお知らせします。

市のホームページでは、支出状況を毎月掲載していますので、ご覧ください。

地域おこし協力隊
隊員を紹介②

市では、人口減少や高齢化が進む中、市外の人材を積極的に活用し、地域の課題解決・活性化を図るため、ICT(情報通信技術)と水産の各分野で4人の「地域おこし協力隊」を委嘱しています。

ここでは、第2回目として、農業やジビエ(狩猟により食材として捕獲された鹿などの野生鳥獣やその肉)料理の研究などに取り組む蟻川文太郎隊員を紹介します。

▽問い合わせ先 新産業戦略室(☎内線229)



ありかわ ぶんたろう 蟻川文太郎隊員
～プロフィール～
▷活動開始日 平成28年11月1日
▷年齢 25歳
▷出身地 神奈川県横浜市

活動内容を教えてください。

春から秋にかけて、日頃市町の遊休地をお借りして「ギークファーム」と名付けてコミュニティ農園を運営しています。昨年は、春の作付け体験、草刈り、収穫体験などのイベントを開催するとともに、夏野菜やハーブなど合わせて約30種類の作物を育てました。また、地域おこし協力

隊を知っていただくため、市内のイベントに参加し、ギークファームで収穫した作物と活動内容を紹介するパンフレットを配布しました。冬は、野生鳥獣被害対策としてICTを活用した鹿を検知するセンサー端末の開発を補助しています。これらの活動と併せて、ギークファームで収穫した野菜やハーブ、捕獲した鹿を使ったジビエ料理



→鹿肉を使ったジビエ料理

も研究しています。また、活動の内容を日々フェイスブックやツイッターなどに投稿し、情報を発信しています。

地域おこし協力隊に応募したきっかけは?

直接的なきっかけは知人の紹介ですが、学生時代に震災ボランティアで3回ほど大船渡市を訪れていたことや、幼いころから興味があった農業と地方での生活が実現できると考え、応募しました。

地域おこし協力隊として活動した感想を教えてください。

農業と地方での生活の希望

1月1日から1月31日までの間、全国各地から、59件1,017,000円の寄附をいただきました。大変ありがとうございました。寄附をいただいた人のうち、本人の了解が得られた皆さんの氏名を掲載します。

～ふるさと大船渡応援寄附～
ありがとうございます

【個人】(敬称略・50音順)

- | | | |
|-------|-------|-------|
| 相沢 敏晴 | 榊原総一郎 | 益若 翼 |
| 青砥 周一 | 鈴木 明広 | 峯島 政枝 |
| 市川 文雄 | 田中 麗 | 彌勒寺寛之 |
| 大野 功二 | 田村 和久 | 森本 晶之 |
| 大藪 直孝 | 土川 幸治 | 焼田 吉彦 |
| 岡田 佳之 | 土江田雅史 | |
| 小幡 直人 | 野口 武 | |
| 加藤啓一郎 | 平尾 準一 | |
| 木上 茂 | 藤本 和将 | |
| 北川 敏司 | 前川 邦哉 | |



ふるさと大船渡応援寄附とは

出身地や自分と関わりの深い地域である「ふるさと大船渡」のまちづくりに対して、寄附という形で応援していただくものです。※住民税と所得税の納税額が減額される優遇措置があります。

▷問い合わせ先 企画調整課政策調整係(☎内線214)

がかない、充実した日々を過ごしています。私は、大半の活動が農業で自然相手のため、思い通りにいかないことばかりですが、そうした時には、インターネットの情報ではなく、地域の方から生きた情報を教えていただくようにしています。その方が、土地の気候や土を考慮した情報のため実行しやすく、効果も期待できます。

私に農業を教えてください。地域の皆さまは優しく、よそ者の私に対しても快く協力してくださるので、大変感謝しています。

今後の抱負と地域おこし協力隊退任後の目標を教えてください。

ギークファームは、コミュニティ農園としては未完成のため、できるだけ理想に近づけたいと考えています。この春は、昨年に比べて栽培するハーブの量を増やし、ハーブソルト作りやブーケガルニ作りなどのハーブを使ったイベントを開催したいと考えています。

退任後は、大船渡市に定住すると決めていることから、それに向けて準備を進めたいと考えています。

実際に住んでみて感じた大船渡市の魅力は何ですか?

個人的には、自分の求めているライフスタイルが実現できる場所として魅力を感じています。気軽に釣りに行けて、家庭菜園もできて、きれいな海を眺めながらバーベキューなんて都会に住んでいるとなかなかできないことです。

首都圏にはこのような生活に憧れている方が多くいるはずなので、そうした方々を大船渡市に呼び込んで、楽しさを共有したいと思っています。



→「ギークファーム」での農作業イベントの様子